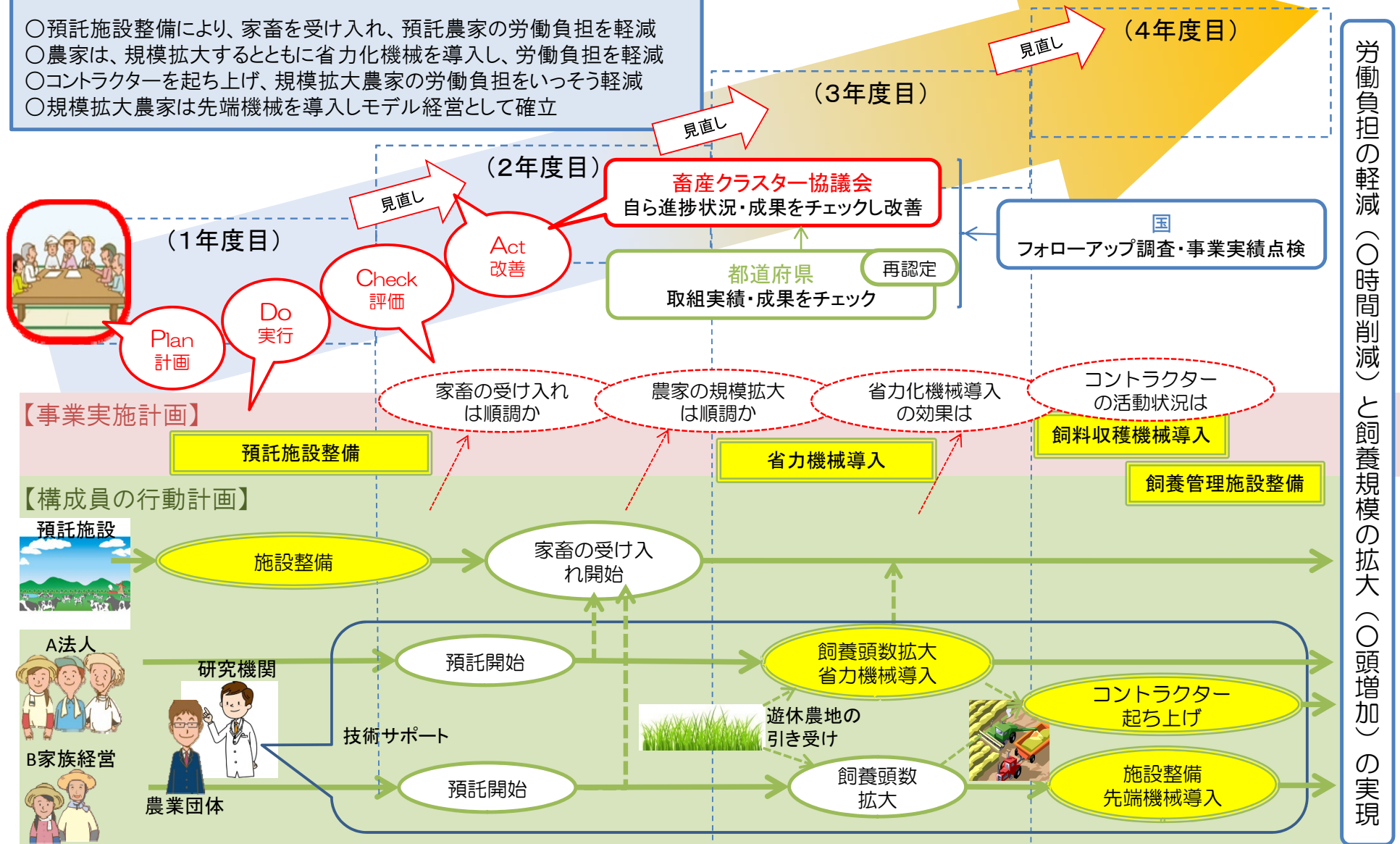


畜産クラスター計画の目指す姿(イメージ) ~畜産クラスター新時代に向けて~

畜産クラスター計画の具体化

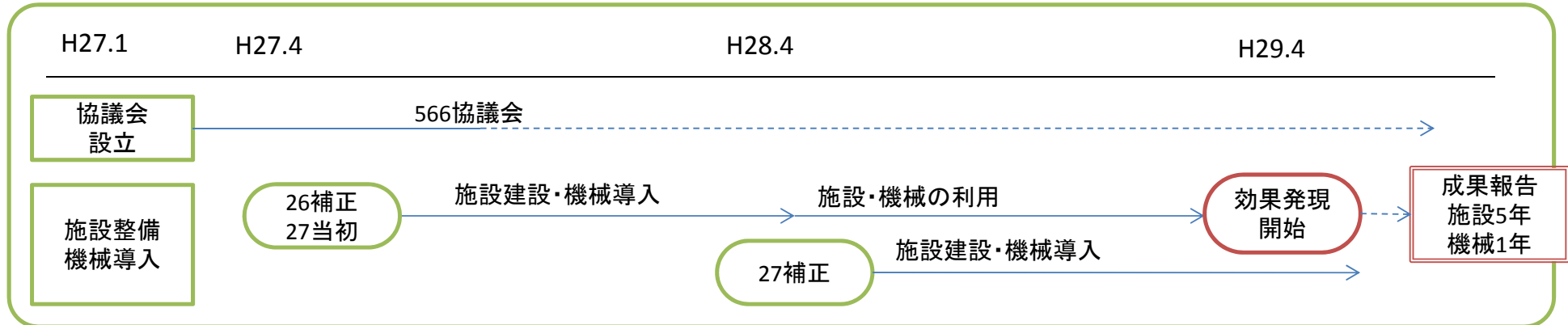
- 預託施設整備により、家畜を受け入れ、預託農家の労働負担を軽減
- 農家は、規模拡大するとともに省力化機械を導入し、労働負担を軽減
- コントラクターを起ち上げ、規模拡大農家の労働負担をいっそう軽減
- 規模拡大農家は先端機械を導入しモデル経営として確立

畜産・酪農の体質強化!



(8) 畜産クラスターの取組状況のフォローアップ

- 27年当初から畜産クラスター協議会の設立が進み、27年夏時点で566協議会が設立。
- 協議会の設立から1年が経過し、今後は畜産クラスター協議会の取組状況について、適切なフォローアップが必要。
- 補助事業の成果は、それぞれの事業において定める「成果目標」と成果報告の仕組みが存在。
- 一方、畜産クラスター計画(地域全体)の成果を評価する仕組みを29年度の導入に向け検討。



- 畜産クラスター計画のフォローアップの手法及び年間スケジュールの検討(案)

実態調査・要望調査を活用した達成状況の把握と改善手法(イメージ)

